

キャプテンクックの太平洋探検：ハワイの再発見

1776年7月、ジェームズ・クックは太平洋から大西洋へ進む北方航路発見と、'Omai（オマイ）という男のタヒチ送還を目的とし、太平洋に3回目の出航を試みました。欧州はアジアとの貿易を求めていましたが、当時の南アフリカのケープホーンやアフリカの喜望峰を経由する道のりは長く厳しく、そして費用のかかるものでした。

クックはそれまで赤道南下の太平洋探検に2度挑んでいました。しかし北方は目にしたことがなく、ハワイ諸島には触れたこともなかったのです。Resolution（リゾリューション号）と Discovery（ディスカバリー号）の2船を備えてタヒチを後にし、未知の世界である赤道北方へと出航していきました。

ハワイ上陸 - カウアイ島、Waimea（ワイメア湾）

ハワイは丁度、Lono（ロノ）神を崇め、競技や宗教的な祭りを催す Makahiki Festival（マカヒキ祭）の時期。Lono 神とは、海から島に再来するのだと、古くからハワイ人たちに伝えられていた農耕の神です。

ハワイ人の目には、カウアイ島の Waimea（ワイメア）湾に上陸するこの不思議な船が、彼らの元に Lono 神を導いているように映ります。しかもこの船の帆が、今の季節に掲げる Lono 神のシンボル、マカヒキの旗 Lono Makua（ロノ マクア）にそっくりだったのです。当然のことながら彼らはクックを Lono 神のように歓迎し、船長と乗組員を特別にもてなします。目にしたことのない鉄製の道具に興奮し、彼らの大事な工芸品と、仕事が数倍も楽にこなせるこの鉄製道具とを喜んで交換し合いました。

クックは数日後に出発し、Ni'ihau（ニイハウ）に立ち寄ってから北方へと航海を進めました。米国の北西部に達し、本土の大部分と周辺の諸島を海図に記し、その後ベーリング海へ。秋になり寒くなると再度ハワイを目指し南下しました。

再度 Kealakekua（ケアラケクア）へ

マウイ島を訪れた後、今回はハワイ島の Kealakekua 湾に碇を下ろし、Kalani'ōpu'u（カラニ オプ ウ）王から大歓迎を受け友好関係を築きました。しかし、その友好関係にも陰が落ち始めます。Maka'āinana（マカ アイナナ）は食料を分け合うことと、飲み水確保のため山に大樽を転がすことに疲れ果ててきたのです。彼らは鉄製道具を盗むようになり、船の乗組員も1年以上も故郷から離れて帰国の念が強くなっていました。クックは1779年2月、海へと戻っていきます。

クックの死

しかし、'Upolu Point（ウポル ポイント）岸近くでひどいストームに襲われ、一隻のマストが折れてしまいます。クックはマストの代用になる長い木材が Kealakekua で手に入れると思い、助けを求めて引き返します。このときクックは出迎えられたとはいえ、以前のような暖かい歓迎ではありませんでした。諍い事が続いて両者は敵対するようになり、とうとう位の高いチーフが殺害される事件に至ります。

これを聞いたハワイ人たちは石と短剣で身を固め、この先起こりうる大きな争い事に備えました。クックが Kalani'ōpu'u 王との話し合いを求めて岸近くに出向くと、武装したハワイ人たちは今にも攻撃しそうな様子を見せ、それに応じて相手のマスケット銃兵が発砲。ハワイ人はクックと周囲の者を威嚇し続け、その結果クックは最高位にあったハワイ人の1人を射殺することになります。クックも刺されはしたものの湾に停泊させていた船にたどり着き、発砲を止めるよう指示。ハワイ人たちは攻撃を続け、クックは岸の岩上で息を引き取ります。この争いで4名の兵と17名のハワイ人が命を落としました。

亡骸を骨と肉体とに分け、その骨を最高級の kapa に包み、魂と力が侵されない場所に隠すのがチーフの伝統的な葬り方でした。ハワイ人は始めクックを神聖な人と見なしたこともあり、彼をチーフと同じように埋葬しました。

ハワイ文化への影響

ハワイは貿易に恰好の場となり、アラスカの毛皮、欧州が切望するオリエンタルのシルクやスパイスなど、品々が行き交う貿易の中心地に発展しました。外界にその扉を開いたハワイは古代文化に終わりを告げ始め、何百年もの孤立社会で疫病への免疫力を持たなかった彼らは、恐ろしい流行病で種族の存続さえも危ぶまれる時代へと突入していきます。

Kamehameha I (カメハメハ1世)の統治時代(1795~1819年)

諸島の統一

1795年、クックは自身の日記に、Kamehameha I は若く荒々しい戦士だと綴っています。いくつも存在していた小さな王国はチーフによって治められていましたが、Kamehameha I はハワイ全島を統一し、1つの王国とするビジョンを持っていました。彼は2人の外国人顧問からカヌーに大砲を積む技術を学び、力を増していきます。

Kamehameha I は彼の政治活動を神聖なものとするため、Kawaihae (カヴァイハエ) に Pu'ukoholā (プウコホラ) と称する参拝の場 Heiau (ヘイアウ) を建築するよう、顧問から勧められます。その後、まず出身地であるハワイ島を統一。これはマウイ島、ラナイ島、カホオラヴェ島、そしてモロカイ島の制圧を確かなものにしました。1795年の Nu'uānu (ヌウアヌ) での戦いの後、オアフ島を支配します。

カウアイ島とニイハウ島を2度に渡り制圧しようとしませんが、どちらも荒々しい嵐と流行り病に阻まれてしまいます。1810年、カウアイ島とニイハウ島の王は Kamehameha I の王国に自ら島を譲渡し、王の夢が実現します。

Kamehameha I の政府

Kamehameha I は古い kapu 制度を用いて統治しようとしませんが、頻繁に商業船が入港し、ハワイを休養と食料が得られる場としか見ない乗員がいる中でそれは困難でした。王は盗みと殺人を禁じる法律を定め、ハイウェイ上の安全を保障する Māmalahoe Kanawai (ママラホエ カナヴァイ)、または Māmalahoa (ママラホア) という法律を設定します。

グレートブリテンの旗

英国の George Vancouver (ジョージバンクーバー) 航海士は Kamehameha I と友好関係を築き、ハワイ諸島の象徴として英国旗を寄贈します。後年にこの連邦旗がハワイの旗左上に含まれ、8島を表す8本の線が加えられます。王は防衛援助関係を結んだ英国に島の譲渡を申し出ますが、申し出は受け入れられませんでした。

ロシア

ロシア船に乗り合わせたある熱心な医者がツァー皇帝にカウアイ島を譲渡しようとし、試みた際も、ハワイ諸島は危うくロシアの1部となるどころでした。彼の試みは Kamehameha I により阻まれます。

白檀と捕鯨

白檀（ビャクダン）は貿易品として注目され、植林を目的として山々に maka'āinana が送られました。中国で様々な製品を製造するのに必要だったからです。農耕は軽視され、人々は少ない報酬のために長時間働くことを嫌うようになります。牛、ヤギ、羊は森からその姿を消し、1825年までには白檀に替わり捕鯨が王国の主要収入源となりました。

妃たち

Kamehameha I は権力と血統の存続のため4人の妻を娶ります。

Kamehameha I が最も敬愛した妻は Ka'ahumanu（カ・アフマヌ）。政治や社会などの良き相談相手だったといわれますが、彼女とは子宝に恵まれることはありませんでした。

9人の子を授かった妻は Ke'ōpūolani（ケ オプオラニ）。娘の Nāhi'ena'ena（ナヒエナ エナ）、Kamehameha II となる Liholiho（リホリホ）と Kamehameha III となる Kauikeauoli（カウイケアウオリ）の3人が無事に成長します。

Kalakua、別名 Kaheheimālie（カラクア、またはカヘイヘイマリエ）の娘2人も健康に育ちます。Kamāmalu（カママル）は Kamehameha II に嫁ぎ、Kina'u（キナ・ウ）は Mataio Kēku'anaō'a（マタイオ ケク・アナオ・ア）に嫁ぎ、後に Kamehameha IV となる Alexander Liholiho（アレキサンダーリホリホ）、Lot（Kamehameha V）、Victoria Kamāmalu（ビクトリア カママル）、Moses Kekū'aiwa（モーゼ ケク アイワ）、そして David Kamehameha（デービット カメハメハ）を授かります。

Kanekapolei（カネカポレイ）は Bernice Pauahi Bishop（バーニス パウアヒ ビショップ）と Ruth Ke'elikōlani（ルース ケ エリコラニ）の大祖母。

Kamehameha II の統治時代（1819～1824年）

Kapu 制度の廃止

1819年の崩御前、Kamehameha I は彼の最愛の妻 Ka'ahumanu（カ アフマヌ）の名を Kuhina nui（クヒナ ヌイ、意味は治めるミニスター）と改め、息子であり Kamehameha II となる Liholiho と共にハワイを統治するよう言い渡します。その後すぐ古いカプ制度が廃止に。王が彼の妻、母、Ka'ahumanu と食事をするようになり、他の文化では当然のごとく目にする風景がハワイでも見られるようになります。古い kapu 制度の下では男女で食べ物が違い、食卓を共にはしませんでした。この新しいシステムは'ainoa アイノア（自由な食事）と呼ばれ、新しい時代のシンボルとなります。

1820年

宣教師の到来と教育

1820年、Hiram Bingham（ハイラム ビングハム）師に率いられた宣教師の第一団がニューイングランドからやって来ますが、彼らの目にはハワイが無宗教で、社会秩序が皆無な世界に写ります。王は彼らを試しに1年間だけ滞在させることにしましたが、これは主にハワイ人たちが痛切に読み書きを学ばなくてはならなかったからです。その後20年間で識字率は人口の85%にまで達しました。

はしかによる死

1824年、Kamehameha II と彼の最愛の妻 Kamāmalu（カママル）は欧州に渡り、まずロンドンを訪れました。わずか10日間で彼らははしかにかかり、命を落とします。長い

間外界と接触せず、西欧の病原菌に免疫がなかったハワイ人には、はしかのような軽い病気でも死に至る大病となってしまったのです。

工芸品が海外へ

亡骸を運ぶため特別に船が用意され、無事ハワイに到着しました。Kūka'ilimoku (クカイリモク) 神の彫り物が船員の1人に授けられます。その後、この彫り物は彼の子孫により返上され、今はピシヨップ博物館に保管されています。初期のハワイでは、今では値段のつけよもないこれらの貴重品を感謝の念として、また物々交換用として用いていました。彫り物や、羽で作られたクロークやケープなどがハワイから遠く離れた地球の反対側でも見つかるのはこのためです。

Kamehameha III の統治時代 (1825年~1854年)

Ka'ahumanu が政治の執権役に就いたまま、リホリホの弟 Kauikeaouli (カウイケアオウリ) が12歳のとき Kamehameha III となります。

1832年 - 砂糖

1832年、砂糖黍の栽培を目的に、Kamehameha III はカウアイ島の Kōloa (コロア) を3名の米国人に貸し付けます。1850年頃までに砂糖黍農園が栄えますが、労働力不足のため海外から労働者を受け入れるようになります。

初めての憲法

宣教師とハワイの知識人の力を借りて、王は1840年に初の憲法を發布します。初期には地主にのみ投票権が与えられていましたが、地主とは即ちハワイ人。外国人による投票と土地の購入が認められたのは後のことでした。

1848年 - The Great Mahele (グレート マヘレ)

1840年代半ばまでに、Kamehameha III は maka āinana (マカ アイナナ) にも土地所有の機会を与えるべきだと考えるようになりました。また、王室用と、政府が使用できる土地とを分離する必要性も出てきました。Great Mahele (分配) が現実化し、平民でも土地が所有できるようになります。しかし問題も少なくはなく、特に「所有」というコンセプトを理解しきれないまま、400万エーカーもの土地のうち、平民には僅か4万エーカーを与えただけの結果となってしまいます。

ハワイのモットー

1843年、イギリス人ポーレットが英国への合併を迫った5ヶ月間を「ポーレット事件」と呼びます。後にハワイのモットーともなった Ua mau ke ea o ka 'āina i ka pono 「大地の命は高潔さの中にて不朽なり」という Kamehameha III の言及に応え、艦隊司令長官のトーマスが王朝復活のため来航します。

宗教

1839年の kuhina nui (クヒナ ヌイ) と Kina'u (キナウ) の死後、カトリック教が認められました。同じ年、プロテスタントの宣教師たちにより Royal Chief's Children's School (ロイヤル・チーフの小学校) が建設されます。

Kamehameha IV (カメハメハ4世)の統治時代(1854年~1863年)

Emma (エマ)との結婚

1854年のKamehameha III 没後、彼の甥であり hānai (ハナイ) の息子である Alexander Liholihi (アレキサンダー リホリホ) は Kamehameha IV と改名されます。王はイギリス人 John Young (ジョン ヤング) の孫娘である Emma Rooke (エマ・ロオケ) と結婚。二人の間に生まれた子 Albert Edward (アルバート エドワード) は4歳にして悲劇的な死を迎えます。

宗教

Kamehameha IV と Emma は米国より英国の伝統に感銘を受けます。諸島内に Church of England (英国教会) が設立され、St. Andrews Cathedral (セイント アンドリュー 大聖堂)、'Iolani (イオラニ) 学校、St. Andrew's Priory (セイント・アンドリュー プライオリー) が創設。1865年にはラナイ島でモルモン教が普及し始め、1865年には Lā'ie (ライ エ) に広がり、そこでは寺、大学、文化センターが建立されました。

クイーンズ病院

Kamehameha IV と Emma は、ハワイ人の人口激減と、病気に対する抵抗力の低さを気に病んでいました。統治時代後半は病院建設に必要な資金集めに注力し、現在はクイーン メディカルセンターとして知られるクイーンズ病院を創設しました。

砂糖業の始まり

1860年代半ば、米国での南北戦争に船が使われてしまい、また、北極海がひどく凍りついて捕鯨船の多くが損傷し、捕鯨業は衰えていきます。一方で砂糖業が伸び続け、次の70年代と80年代には「経済の王様」となる勢いでした。砂糖を税抜きで運搬できるよう米国の合意を求めましたが、これは失敗に終わります。

Kamehameha V (カメハメハ5世)の統治時代(1863年~1872年)

新憲法

Lot Kapuāiwa (ロット カプアイワ) は Kamehameha V となり、1863年に王位に就きます。外国人、特に米国人勢力の伸びを警戒した彼は1864年に新しい憲法を発布し、王の権力を拡大させました。

Pauahi (パウアヒ)

Royal Chief's Children's School 時代からずっと王女 Pauahi を愛し続けた彼は結婚を願い出ますが、王女は米国人である Charles Reed Bishop (チャールズ リード ビショップ) を結婚相手に選びます。多くを前の王朝から引き継いでいた王女の土地を基にビショップ財団が設立され、今ではその財の受取人はカメハメハ学校のみとなり、その運営にあてがわれています。

経済

外国人労働者の統制が取れていないとの関心が高まり、Kamehameha V の下で移民局が設立されました。労働者受け入れは形を変えた奴隷制に他ならないと考える者も多く、ハワイ諸島は非難を受けます。ガイドラインが設定され、給料や保証内容など詳細を含めた規定により、労働者の権利が守られるようになりました。

この時期、砂糖以外にも穀物、綿、コーヒーなどの農作物が試験的に栽培されました。ハワイを訪れる人の数も増え、政府はホノルルのダウンタウンにハワイアンホテル(後にロイヤル ハワイアンホテルと改名)を建設します。

Kalaupapa (カラウパパ)

ハワイ人口を減らすハンセン病は大きな問題となってきました。政府はモロカイ島北岸に位置する Kalaupapa 半島をハンセン病患者の居住地域とし、患者たちはこの地に隔離されるようになります。ダミアン牧師はここで15年もの歳月を過ごしました。ハンセン病は現在も存在しますが、今では Kalaupapa での生活を強いられることはありません。

William Charles Lunalilo (ウイリアム チャールズ ルナリロ) の統治時代 (1873年~1874年)

選挙

Kamehameha V は死の床で、Bernice Pauahi (バーニース パウアヒ) (後のビショップ) に王座に就くよう懇願します。彼女は Kamehameha 血統最後の統治者でしたが、これを拒否。政府は新王の選挙という課題を負うことになります。

王位への主な候補者は、Kamehameha I の腹違いの兄弟の孫息子である Lunalilo と David Kalākaua (デービッド カラカウア)。政府は Lunalilo を王とする案を可決しますが、本人は選挙による選出を希望。大量票により勝利し、1873年に Kawaiaha'o (カヴァイアハオ) 教会にて宣誓を行いました。

併合への話し合い

この時期、砂糖の輸出には重い関税がかけられ、捕鯨業は衰退し労働賃金は高く、王朝は経済不況に苦しんでいました。米国への併合の話が持ち上がりますが、ハワイ人は当然のように反対します。

遺産

Lunalilo は王位継承以前に結核を患っており、回復への努力も空しく就任1年後の1874年に亡くなります。彼は愛する者たちに遺産を残し、Lunalilo Home for aged and indigent Hawaiians が建設。今では Hawai'i Kai に Lunalilo Hom Road が引かれ、ハワイ人の高齢者向けに100もの住宅が建ち並ぶほどになりました。

David Kalākaua (デービッド カラカウア) の統治時代 (1874年~1891年)

1876年 - ハワイ 米国互惠条約

David Kalākaua は、Kamehameha IV の未亡人である Emma を不法選挙で破ります。砂糖関連の政治的サポートをバックに、関税抜き砂糖輸出事項を盛り込む相互条約集約を目指し、米国ワシントンへと渡航。

日本との交流

世界に向け航海に出た初めての君主カラカウアは、この旅で日本と友好関係を築こうと考えていました。まだ若かった王女(カイウラニ)を日本の皇太子に嫁がせようと思いましたが、実現せずに終わります。カラカウアは更にオセアニア諸国から成る統一政府を樹立しようと思いましたが、これも夢と消えます。

文化の普及

王は古代のチャント、フラダンス、そして伝説の普及に力を注ぎました。Myths and Legends of Hawai'i (ハワイの神話と伝説) を著作し、古代のチャントは失われぬように収録させていました。

君主メリー

王は国民と昔ながらの良さを守ろうとしましたが、王宮の壮麗さも好み、君主メリーとして知られるようになります。(イオラニ)王宮を建て、道の向かい側には高くそびえるカメハメハ像も建立させました。

銃剣憲法

王の浪費と、古き良き時代を引きずるやり方に反感が高まってきました。王の権力を分散する新憲法設定を掲げて反カラカウア勢力が生まれます。1887年、カラカウアはこの銃剣憲法に署名を強要されます。

カピ オラニ病院

ハワイ人口の激減(4万人まで減少)を深く危惧していたため、王と王妃(カピ オラニ)は幼児の死亡率低下を目指し、カピ・オラニ病院を建設します。

(リリ ウオカラニ)

1838年~1917年没

1891年~1893年統治

サンフランシスコで弟が予期せぬ死をとげたときカフナだった Lili'ukalani は、1891年、女王の座に就任。夫と彼女の助言役だった John Owen (ジョン オーエン) が死亡する数ヶ月前のことです。

1893年 - 女王の退位

女王の支援者をキャビネットに任命し、銃剣憲法の下で権力を強めようとする試みは、勢力を増してきた併合賛成派により阻まれました。女王は非難され、安全委員会が米国艦隊を沿岸に呼び寄せる事態へと発展。女王は力の差が明らかな米国政府との戦いで大勢の命が失われることだけは避けたいと、「米国政府に」服したのです。

1894年 - ハワイ共和国と女王の投獄

1893年に臨時政府が成立し、その翌年には共和国が宣言され、Sanford B. Dole (サンフォード B ドール) が大統領に就任します。1895年1月、女王に忠実な者たちが氾濫を計画。氾濫は鎮圧されますが、女王はイオラニ王宮に監禁され、彼女はこのときに The Queen's Prayer を作曲。女王の甥である David Kawananakoa (デービッド カワナナコア) と Johah Kūhiō Kalaniana'ole (ジョナ クヒオ カラニアナ オレ) も Iwilei (イウィレイ) に投獄されますが、後に皆が釈放、または仮釈放されます。

女王の遺産

女王は君主制を立て直すため、後世にワシントンブレースにある家とワシントン DC を何度も往来します。女王は1917年に79歳で崩御。彼女は国民への遺産として Queen Lili'uokalani children's Center を残し、ハワイ人の血を引く孤児と片親の子供たちに授けられました。

その他の主要な王族

カヘキリ（1794年没）

マウイ島とオアフ島を治めていたのはチーフであったカヘキリ。彼の右半身は頭から爪の先まで刺青で覆われていました。オアフ島の征服後は、オアフのほとんどのチーフを殺してしまします。1791年、ハワイ島の（ワイピ・オ）沖でカメハメハ1世と争い、この戦いは重要でありながらも未決着のまま終わります。両者がハワイアンカヌーに大砲を持ち込んだ、初めての戦いでした。

Likelike（リケリケ、1851年～1887年没）

Kalākaua 王と、Lili'uokalani 王妃の妹。Ka'iulani の母。

Kapi'olani 王妃（カピ・オラニ、1834年～1899年没）

Kalākaua の妻、ハワイ人女性のための福祉制度を改善する案を設定し、1890年に Kapi'olani Maternity Home を創設。

Ka'iulani 王女（カ イウラニ、1875年～1899年没）

Arcgubakd Ckeggirn 知事と、Miriam Likelike 王女との混血ハワイ人。Kalākaua 王は当時5歳だった彼女を日本の皇太子へ嫁がせ、（ハワイに対する米国の勢力を抑えるために）姻戚関係を築こうとします。イギリスで教育を受けた彼女は数カ国語をこなしていました。1891年、Lili'uokalani 女王は、位の継承は彼女にと決意。米国大統領の Grover Cleveland（クリーブランド）に君主制再建を懇願します。受け継いだ土地は Princess Ka'iulani Hotel の建つワイキキ内。

Jonah Kūhiō Kalanianaʻōle

（ジョナ □クヒオ □オレ、1871年～1922年）

彼は、叔父の Kalākaua 王により王位継承を約束されます。王朝の復活を目指した反革命運動に加担したため、1年間投獄。ハワイ人に職と土地を与えるため、共和党派のビジネスマンと政治的連合を組みます。1902年から1922年にかけては、国会への下院議員として選出。連邦政府から郡レベルへと、権力の分散を推進した1人。ハワイ州に関する初の連邦法案（1919年）と、Hawaiian Homes Commission（1921年）をまとめたのも彼でした。

併合への道（1893年～1900年）

臨時政府（1893年～1894年）

1893年に王朝が崩壊し、Sanford B. Dole（サンフォード' B'ドール）を大統領に据え、「安全委員会」が臨時政府を樹立します。

ハワイ共和国（1894年～1898年）

米国大統領 Grover Cleveland（グローバー クリーブランド）は、ハワイ併合に反対姿勢を崩しません。併合賛成は1894年にハワイ共和国を宣言し、Dole が再度大統領に選出。革命には懸念を抱いてはいたものの、ハワイと国交のあった国々がハワイ共和国を承認したのに次いで、米国も同調路線に転換します。

併合（1898年）

1898年7月、Mckinley（マッキンレー）大統領が併合への文書に署名。1900年、ハワイは正式に米国の属領として認証されます。

サンプルテスト

- 1) キャプテン・クックが到着した季節はいつ？
- 2) ハワイ人はクックを Lono 神だと思った。【正解/誤り】
- 3) クックがハワイに初めて訪れたのはいつ？
- 4) クックが最初に下船したのはどの島の何湾？
- 5) クックの船の帆はハワイシンボルの何と似ていた？
- 6) 工芸品はどんな道具と物々交換された？
- 7) クックの日記に「若くて荒々しい」と描写されたチーフは誰？
- 8) オアフ島が征服されたのは何年？
- 9) オアフ島での戦いは何と称されている？
- 10) 有名な Mamalahoe Kanawai、または、Mamalahoa は何を約束した？
- 11) イギリスがハワイの君主制を制した後、ハワイ旗にはユニオンジャックが描かれた。
【正解/誤り】
- 12) 当時のハワイ旗、現在のハワイ州旗に描かれた8本の線は何を表わしている？
- 13) maka'āinana が山に栽培しようとした木を3つ挙げてください。
- 14) 道具の製造用としてハワイの木を使用した国は？
- 15) 木の栽培に取って代わった産業は？
- 16) Kamehameha II の名は？
- 17) Kamehameha II が統治した年は？
- 18) 宣教師が訪れた年は？
- 19) Kamehameha II 妻の Kamāmalu 王女がイギリスを旅した年は？
- 20) 2人が命を落とした病名は？
- 21) Kamehameha III の名は？
- 22) Kamehameha III は何歳で王位に就いた？
- 23) 最初の砂糖農園はどこで設立された？
- 24) 1848年に起こった土地の分配とは何？
- 25) Ua mau ke ea o ka 'āina i ka pono の意味は？
- 26) Kamehameha IV の名は？
- 27) Kamehameha IV の結婚相手は？
- 28) Kamehameha IV と王妃が設立した教会の名は？
- 29) Kamehameha IV の下に設立された私立学校を2つ挙げてください。
- 30) O'ahu の Lāie にモルモンミッションが設立されたのはいつ？
- 31) Kamehameha IV と王妃が建設した病院名は？
- 32) Kamehameha V の名は？
- 33) Kamehameha V の統治下で、外国人労働者を統制するため移民局が設立された。
【正解誤り】
- 34) Royal Hawaiian Hotel の元の名は？
- 35) ハンセン病患者を隔離した場所は？
- 36) ハワイの6代目統治者は誰？
- 37) Lunalilo Home は高齢者と純血ハワイ人のために建てられた。【正解/誤り】
- 38) ハワイの7代目統治者は誰？
- 39) Kalākaua 王は神話、チャント、フラダンスを普及させようとした。【正解/誤り】
- 40) 幼児の死亡率を下げるため設立された病院名は？
- 41) ハワイの8代目統治者は誰？
- 42) 8代目統治者が後期に試みたことは何？
- 43) 米国に併合された年は？

- 44) Kamehameha I が退位した年は？
- 45) Kamehameha II はどのようにして古代ハワイのカブ制度を廃止した？
- 46) ハワイに労働者を送った国を4つ挙げてください。
- 47) ハワイが正式に領土と化したのは何年？
- 48) Kamehameha I の出生地はハワイ島の Kailua。【正解/誤り】
- 49) Kanekapolei, Kajahumanu, Keöpuöalani, Kalakua は Kamehameha II の妻である。【正解/誤り】
- 50) Myths and Legends of Hawaiji (ハワイの神話と伝説) の著者は Kaläkaua 王である。【正解/誤り】
- 51) Nu'uuanu の戦いが起きたのは1795年。【正解/誤り】
- 52) 1810年、Kaua'i と Niihau は Kamehameha I に統治される。【正解/誤り】
- 53) The Queens Medical Center は Kapi'olani に因んで命名された。【正解/誤り】
- 54) Lot Kamehameha 王は誰を愛した？
- 55) 砂糖業が起こったときの統治者は？
- 56) Kamehameha I の最愛の妻は？
- 57) 初の宣教師団を率いたのは？
- 58) Aloha 'Oe (アロハ オエ) の作曲者は？

解答

- 1) Makahiki Festival
- 2) 正解
- 3) 1778年1月
- 4) Kaua'i 島の Waimea 湾
- 5) Makahiki (Lono Makua)
- 6) 鉄
- 7) Kamehameha I
- 8) 1795年
- 9) Nu'uuanu の戦い
- 10) ハイウェイ上での安全
- 11) 誤り
- 12) ハワイの主要8島
- 13) 'Iliahi (白檀)
- 14) 中国
- 15) 捕鯨
- 16) Liholiho
- 17) 1819年から1824年
- 18) 1820年
- 19) 1824年
- 20) はしか
- 21) Kauikeaouli
- 22) 12
- 23) Köloa, Kaua'i
- 24) グレートマヘレ
- 25) 大地の命は高潔さの中にて不朽なり
- 26) Alexander Liholiho
- 27) Emma Rooke

- 28) St. Andrew's Cathedral
- 29) ʻĪolani School, St. Andrew's Priory
- 30) 1865年
- 31) クイーンズ、現在ではクイーンズ□メディカルセンター
- 32) Lot Kapuāiwa
- 33) 正解
- 34) Hawaiian Hotel
- 35) Molokai 島の Kalaupapa
- 36) William Charles Lunalilo
- 37) 正解
- 38) David Kalākaua
- 39) 正解
- 40) Kapiʻolani Hospital
- 41) Liliʻuokalani
- 42) 君主制の復活
- 43) 1898年
- 44) 1795年から1819年
- 45) ʻĀi noa (自由な食事)
- 46) 中国、日本、ポルトガル、韓国、スペイン、フィリピン、ノルウェー、ロシア、ギルバート諸島、ドイツ。
- 48) 誤り
- 49) 誤り
- 50) 正解
- 51) 正解
- 52) 正解
- 53) 誤り
- 54) Pauahi
- 55) Kamehameha III
- 56) Kāhahumanu
- 57) Bingham
- 58) Liliʻuokalani